

令和7年9月定例議会

定例記者会見

名張市

令和7年8月28日(木)



令和7年度 9月提出議案

条例議案(5件)

○使用料、手数料等の額の見直しに係る関係条例の整備に関する条例の制定について

ーなばりの未来創造部 行政・デジタル改革推進室ー物価高騰等の影響を踏まえ、行財政改革の取組の一環として受益者負担の見直しを図るため、使用料、手数料等の額を改定するほか、関係条例の規定を整備しようとするものです。

○伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村ごみ処理広域化施設適地選定委員会設置条例の制定について

一地域環境部 環境対策室一

伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村において、共同で検討を進めるごみ処理広域化に係る施設の整備に要する適地を選定することを目的として、地方自治法第252条の7第1項の規定により、伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村ごみ処理広域化施設適地選定委員会を共同設置しようとするものです。

〇名張市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

ー福祉子ども部 保育幼稚園室ー

児童福祉法において新設された乳児等通園支援事業に関し、国の乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準に基づき、本市における同事業の設備及び運営に関する基準を定めようとするものです。

〇名張市総合福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

ー福祉子ども部 医療福祉総務室ー

生きがい交流スペースの本格運用に伴う利用時間に係る規定等の整備及び受益者負担の見直しを図るための利用料金の改定を行うほか、所要の改正を行おうとするものです。

○名張市コミュニティバス運行条例の一部を改正する条例の制定について

一都市整備部 都市計画室一

本市における公共交通の利用促進を目的として、市街地循環型コミュニティバス「ナッキー号」の運賃を徴収しないこととする特例を定めるため、所要の改正を行おうとするものです。

一般議案(4件)

〇伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村ごみ処理広域化施設適地選定委員会の共同設置について

一地域環境部 環境対策室一

伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村が共同して伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村ごみ処理広域化施設適地選定委員会を設置することに関し、地方自治法第252条の7第1項の規定により協議によって規約を定めることについて、同条第3項の規定により準用する同法第252条の2の2第3項本文の規定により、議会の議決を求めようとするものです。

〇地方独立行政法人名張市立病院に承継させる権利を定めることの一部変更について

一市立病院 総務企画室一

地方独立行政法人名張市立病院に承継させる権利を定めること(令和7年3月26日議決)について、その一部を変更しようとするものです。

〇地方独立行政法人名張市立病院定款の一部変更について

一市立病院 総務企画室一

地方独立行政法人法第8条第2項の規定により、地方独立行政法人名張市立病院定款の一部を変更しようとするものです。

〇財産の処分について

-教育委員会 学校教育室-

更新に伴う財産(GIGAスクール端末)の処分について、地方自治法第96条第1項第8号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議決を求めようとするものです。

使用料、手数料等の額の見直しについて

「名張市行財政改革プラン」に基づき、使用料、手数料等の額を見直し

趣旨及び背景

- ・財政健全化の取組 (「名張市行財政改革プラン」)
- ・光熱費や資材等の物価高騰
- •郵便料金、労務費等の上昇

など



行政サービスの受益者に適正 な応分負担を求めることを目 的として見直しを実施

対象市内の公の施設

- 市管理施設(防災センター、斎場等)
- 指定管理施設(総合体育館、市民センター、青少年センター等)

見直しのポイント

- 受益と負担に係る公平性
- 市民サービスに係る経費の増額分を考慮
- 近隣市の状況を考慮し、適正な価格を設定

使用料、手数料等の額の見直しについて

| 18施設69の使用料と| | の手数料を見直し

主な見直し(案)

使用料

施設名	単位	見直し案
市民センター30㎡未満	1時間	100円→150円
斎場小動物(30kg以上、収骨なし)	1時間	7,500円→11,200円
青少年センター(ホール 平日)*	3時間	8,000円→12,000円
武道交流館いきいき第1道場	1時間	1,000円→1,200円
市民テニスコート	1時間	600円→800円

手数料

施設名	見直し案
固定資産課税台帳の閲覧等の手数料	300円→400円
固定資産課税台帳に記載されている事項の証明書の交付手数料 (土地)(家屋)	300円→400円
租税、公課に関する証明(課税証明書など) ※多機能端末(コンビニエンスストア等)による交付は300円に据置	300円→400円
納税証明	300円→400円

今後の予定

令和7年9月定例議会 議案提出 令和8年4月1日施行

名張市コミュニティバス運行条例の一部を改正する条例の制定について

20周年の節目を機に認知度の向上と利用者の拡大を目指し、ナッキー号運行20周年記念無料乗車キャンペーンを実施します。

あわせて、次年度以降の運行改善、利用者拡大につなげるため、期間中の利用者にアンケートを実施します。

内容

市街地循環型コミュニティバス「ナッキー号」の無料乗車アンケート回答者に対するナッキー号割引特典の配布

今後の予定

「名張市コミュニティバス運行条例」一部改正案

→令和7年9月定例議会 議案提出

令和7年11月4日~同月28日 キャンペーン実施予定 (土日祝日は除きます)





令和7年度 9月補正

令和7年度 一般会計補正予算(第3号)について

補正額 2億7,315万9千円の増額(補正後予算額 312億730万4千円)

◎令和6年度決算に基づく予算措置 4億1,941万2千円(①+②)

- <決算剰余金等の基金積立>2億9.504万9千円・・・①
 - ■財政調整基金元金積立金・・・4.200万円
 - ■国民健康保険財政調整基金元金積立金・・・6.837万1千円
 - ■介護給付費準備基金元金積立金・・・1億7,946万円
 - ■企業版ふるさと納税基金元金積立金・・・505万円 など
- <国県費等の返還>1億2,436万3千円・・・②
 - ■企画費(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)・・・2,047万8千円
 - ■社会福祉総務費(重層的支援体制整備事業)・・・1.679万9千円
 - ■障害者福祉費(障害者自立支援給付費等)・・・1.804万8千円
 - ■児童福祉総務費(児童入所施設措置費等)・・・1,740万9千円
 - ■生活保護総務費(生活保護費等)・・・3,308万円
 - ■保健衛生総務費(新型コロナウイルスワクチン接種事業等)・・・1,826万5千円 など

◎その他の経費 ▲1億4,625万3千円

- ■病院事業会計繰出金(出資金の減額等)・・・▲1億7,328万1千円
- ■伊賀南部環境衛生組合分担金(伊賀南部クリーンセンター飛灰コンベヤの更新等)・・・1,620万9千円
- ■ごみ処理広域化検討事業(適地選定委員会の共同設置に係る負担金)・・・124万2千円
- ■小規模事業融資支援補助金(申請実績見込みに伴う増額)・・・139万5千円
- ■空家リノベーション補助金(空家リノベーション支援補助金等への県上乗せ補助)・・・125万円
- ■全国瞬時警報システム改修事業(Jアラート受信機の更新)・・・750万円 など

令和7年度 特別会計補正予算について

4会計の補正額 3億4,762万2千円の増額

各会計において、前年度事業費の確定に伴い、一般会計繰出金や基金積立金を追加するなど、所要の措置を行っています。

●住宅新築資金等貸付事業特別会計(第1号) 25万9千円

●国民健康保険特別会計(第2号) 1億1,691万1千円

●介護保険特別会計(第1号) 2億2,437万5千円

●後期高齢者医療特別会計(第1号) 607万7千円



令和6年度 決算

令和6年度 一般会計及び特別会計決算の概要について

- → 一般会計は、事務事業の見直しや使い残し予算を徹底するとともに、ふるさと応援寄附金や企業版ふるさと納税、クラウドファンディングなどの財源確保に積極的に取り組んだほか、国の総合経済対策に基づく普通交付税の追加配分をはじめ、法人市民税、株式等譲渡所得割や配当割に係る国交付金などで増収となったことから、令和7年度への繰越額を除いた「実質収支額」が3億8,105万円の黒字となりました。しかし、令和6年度の実質収支額から令和5年度実質収支額を引いた「単年度収支額」は1億4.332万円の赤字となりました。
- ▶ その他、六つの特別会計についても、「実質収支額」はすべて黒字となりました。

一般会計及び特別会計の決算額

(単位:千円)

	区	分	予算額	歳入額	歳出額	差引額	繰越明許費	実質収支額	令和5年度 実質収支額	単年度収支額
_	般	会 計	34, 536, 617	32, 743, 151	32, 258, 792	484, 359	103, 311	381, 048	524, 365	△ 143, 317
特	住宅新築	資金等貸付事業	3, 775	3, 775	3, 496	279	0	279	381	△ 103
'	東山墓	園造成事業	59, 413	56, 980	55, 420	1, 560	0	1, 560	3, 301	△1, 741
別	国民	健康保険	8, 122, 748	7, 999, 387	7, 833, 280	166, 107	0	166, 107	168, 920	△2, 813
	介 讃	集 保 険	8, 091, 902	8, 103, 521	7, 878, 173	225, 348	0	225, 348	152, 855	72, 493
会	後期高	「齢者医療	2, 357, 091	2, 354, 455	2, 329, 583	24, 872	0	24, 872	7, 985	16, 887
 	国津	財産区	94	100	72	28	0	28	1	27
計	特別:	会 計 小 計	18, 635, 023	18, 518, 218	18, 100, 025	418, 193	0	418, 193	333, 442	84, 751
	合	計	53, 171, 640	51, 261, 369	50, 358, 817	902, 552	103, 311	799, 241	857, 807	△ 58, 566

令和6年度 健全化判断比率等について

1. 財政指標(普通会計)

(単位:%)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経 常 収 支 比 率	100.3	100. 1	93. 8	99. 2	100. 0	99. 5
財政力指数 (3ヵ年平均)	0. 707	0. 701	0. 674	0. 653	0. 632	0. 628

▶令和6年度は、人件費や物件費、扶助費などの経常一般財源歳出が約3億円増えたものの、経済回復基調の影響を受けて、法人市民税をはじめ、配当割や株式等譲渡所得割の交付金、普通交付税が増加するなど、経常一般財源収入が約5億円増加したため、経常収支比率は令和5年度と比較して0.5ポイント改善し99.5%となりました。

2. 健全化判断比率

(単位:%)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	早期健全化基準	財政再生基準
実 質 赤 字 比 率	_	_	_	_	12. 62	20. 00
連結実質赤字比率	_	_	_	_	17. 62	30. 00
実 質 公 債 費 比 率	15. 8	15. 7	15. 5	14. 9	25. 0	35. 0
将 来 負 担 比 率	161. 6	144. 9	130. 5	125. 8	350. 0	

- ▶実質赤字比率は、対象となる一般会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計及び東山墓園造成事業特別会計がいずれも黒字決算でしたので、算定比率はありません。公営企業会計を含む全会計を対象とする「連結実質赤字比率」も、全会計で赤字が生じていないため、算定比率はありません。
- ▶実質公債費比率(3ヵ年平均)は、元利償還金の減少などにより、令和5年度に比べ0.6ポイント改善し14.9%となりました。
- ▶将来負担比率は、地方債残高及び退職手当負担見込額が減少したことや、将来負担すべき地方債等から控除できる充当可能基金の残高が増加したことなどにより、令和5年度に比べて4.7ポイント改善し125.8%となりました。

3. 資金不足比率

(単位:%)

令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	経営健全化基準
病院事業会計	_	_	_	_	
水 道 事 業 会 計	_	_	_	_	20. 0
下水道事業会計	_	_	_	_	

[▶]水道事業会計・病院事業会計・下水道事業会計はいずれも資金不足が発生していないため、算定比率はありません。

令和6年度 病院事業会計決算の概要

1. 事業概要

令和6年度の病院事業は、市立病院においては地域の中核病院として二次救急医療の堅持に加え、病院機能の充実に向けた人的資源の確保、さらには医療機器等の更新・整備を図るなど、市民に信頼される安心で安全な医療提供体制の継続・発展に取り組んだほか、看護専門学校においては、地域医療を担う看護師の養成に努めました。また、令和7年10月に予定する経営形態の地方独立行政法人化に向けて、円滑に移行できるよう準備に努めました。

2. 業務実績

(1) 病院

()は令和5年度の数値

	入院	外来	合計
延べ患者数(人)	48, 908 (52, 098)	67, 099 (69, 137)	116, 007 (121, 235)
4 D 亚	134. 0	276. 1	(121, 200)
1日平均患者数(人)	(142. 3)	(284. 5)	

(2) 看護専門学校

()は令和5年度の数値

7 尚字粉 (1)	16	令和7年4月入学
入学者数(人)	(20)	(令和6年4月入学)
卒業者数(人)	18	令和7年3月卒業
	(11)	(令和6年3月卒業)

令和6年度 病院事業会計決算の概要

3. 収入及び支出

(1)収益的収入及び支出(税抜)(決算書 7ページ)

事業収益は47億5,632万円で前年度比6.4%(3億2,586万1千円)の減となりました。事業費用は55億2,635万3千円で前年度比3.4%(1億8,310万7千円)の増となりました。これらのことから収支差引額 7億7,003万3千円が当年度純損失となりました。

収益的収入

収益的支出

(単位:千円、税抜)

区 分	金 額	区 分	金 額	差引額
医業収益 (入院·外来収益等)	4,064,177	医業費用 (病院 給与費·材料費等)	5,137,673	▲1,073,496
医業外収益 (受取利息·市負担金等)	560,204	医業外費用 (支払利息等)	252,905	307,299
看護学校収益 (授業料及び受験料・市負担金等)	131,085	看護学校費 (看護学校 給与費·経費等)	123,979	7,106
特別利益 (過年度損益修正益)	854	特別損益 (過年度損益修正損)	11,796	▲10,942
収益的収入 計	4,756,320	収益的支出 計	5,526,353	▲770,033

(2)資本的収入及び支出(税込)(決算書 6ページ)

(単位:千円、稅込)

	金 額		金 額	差引額
資本的収入	760,897	資本的支出	1,032,251	▲271,354

(資本的収入額が資本的支出額に不足する額2億7,135万4千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。)

- ※項目単位で四捨五入を行っているため、収支が内訳と一致しない場合があります。
- ※税込、税抜の税は消費税及び地方消費税を示します。

令和6年度 水道事業会計決算の概要

1. 事業概要

令和6年度の水道事業は、令和3年度からの10年間を計画期間とする"第2次名張市水道ビジョン"に基づき、老朽施設の更新・改良事業として、「大屋戸浄水場計装設備ほか更新工事」等を実施するとともに、老朽管の更新及び耐震化として、「市道桔梗が丘5の95号線配水管Φ200mmほか更新工事」等を実施するなど、安全で安定した水の供給、災害に強い水道の整備に努めました。

2. 業務量

	給水人口	給水戸数	年間配水量	有収水量	有収率
当年度	73,505人	31,795戸	9,655,359 ㎡	8,831,982m³	91.5%
前年度比	△1.4%	0.1%	0.6%	△0.5%	△1.0ポイント

3. 収入及び支出

(1)収益的収入及び支出(税抜)

事業収益は16億5,927万8千円で前年度比1.8%(2,957万4千円)の減となりました。事業費用は18億2,151万6千円で前年度比0.6%(1,088万8千円)の減となりました。これらのことから収支差引額1億6,223万8千円が当年度純損失となりました。

事業収益				事業費用				当年度	当年度未処分	
	営業収益	営業外収益	特別利益	計	営業費用	営業外費用	特別損失	計	純損失	利益剰余金
当年度(千円)	1,260,104	399,155	20	1,659,279	1,807,447	13,721	348	1,821,516	162,238	6,004,382

(2)資本的収入及び支出(税込)

	資本的収入	資本的支出	差引額	
当年度(千円)	989,474	1,698,879	△709,405	

(資本的収入額が資本的支出額に不足する額7億940万5千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。)

- ※項目単位で四捨五入を行っているため、収支が内訳と一致しない場合があります。
- ※税込、税抜の税は消費税及び地方消費税を示します。

令和6年度 下水道事業会計決算の概要

1. 事業概要

令和6年度の下水道事業は、令和元年度に改定を行った"名張市下水道整備マスタープラン"に基づき、合理的な手法の選択と計画的な整備を進め、市民の快適な生活環境の創造と公共用水域の水質保全に取り組みました。

建設工事については、管路施設整備として、「中央処理区幹線下水工事」等を実施し、また、処理場施設整備として、 日本下水道事業団に委託し、「中央浄化センター増設事業にかかる建設工事」等を実施しました。

2. 業務量

	行政区域内 人口	処理区域内 人口	処理区域内 水洗化人口	普及率	水洗化率	汚水処理 水量	有収水量	有収率
当年度	73,760人	52,767人	47,722人	71.5%	90.4%	5,789,312m³	5,150,228m³	89.0%
前年度比	△1.4%	0.2%	△0.4%	1.1ポイント	△0.5ポイント	0.1%	△0.5%	△0.5ポイント

3. 収入及び支出

(1)収益的収入及び支出(税抜)

事業収益は27億1,249万9千円で前年度比9.0%(2億2,390万3千円)の増となりました。事業費用は27億482万円で前年度比10.9%(2億6,636万3千円)の増となりました。これらのことから収支差引額767万9千円が当年度純利益となりました。

	事業収益				事業費用			当年度	当年度未処理	
	営業収益	営業外収益	特別利益	計	営業費用	営業外費用	特別損失	計	純利益	欠損金
当年度(千円)	898,926	1,813,573	0	2,712,499	2,490,144	214,592	84	2,704,820	7,679	26,830

(2)資本的収入及び支出(税込)

	資本的収入	資本的支出	差引額
当年度(千円)	1,513,555	1,933,299	△498,258

(資本的収入額[翌年度へ繰り越しされる支出の財源に充当する額7,851万4千円を除く。]が資本的支出額に不足する額4億9,825万8千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。)

- ※項目単位で四捨五入を行っているため、収支が内訳と一致しない場合があります。
- ※税込、税抜の税は消費税及び地方消費税を示します。



その他 発表事項

まちづくり懇談会について

市の現状と課題を市民の皆さんと共有し、ご意見や提言をいただく懇談会を市内5か所で開催しています。

8月29日(金) 18:30~20:00 教育センター

(百合が丘西5番町25番地)

8月30日(土) 10:00~11:30 つつじが丘市民センター

(つつじが丘北5番町73番地2)

中学校給食の延伸、市立病院の経営改善行財政改革などへのご意見を

※来場できない人に向けて、録画映像をホームページへ掲載

開催済 8月22日 ベルウイング武道交流館

8月23日 美旗市民センター

8月24日 防災センター





名張市立病院「ザ☆なつまつり」開催

食物アレルギーがある子どもたちに家族みんなでおまつりを楽しみ、 夏の思い出を作って欲しいという思いで実施します。

内容

食物アレルギー(8大アレルゲン: 小麦・そば・卵・乳・えび・かに・くるみ・落花生)不使用の屋台 職員による音楽演奏 ワークショップ、小児科医による相談コーナーなどのイベントブースを用意。



※写真は昨年の様子

開催日 令和7年8月30日(土) | | 時 00 分~ | 4 時 00 分

場 所 名張市立病院 | 階正面玄関ホール

対 象 食物アレルギーのある子どもとその家族 (50家族)

主 催 名張市

共催 コープ三重伊賀センター、医療法人健文会 東整形外科、LIXIL名張工場、名賀医師会

4thなばりジュニアメディカルラリー

中高生が医療や応急処置について、事前にトレーニングを受け、様々な医療想定場面をチームで乗り越えていく競技を行います。

ジュニアメディカルラリーとは?

メディカルラリー(医師、看護師、救急救命士がチームを組み、様々なシチュエーションにおいて、処置の迅速性や適格性などを競う、学術的競技)を中高生対象にアレンジしたもの。

開催日 令和7年9月13日(土) 12時00分~17時00分

場 所 近畿大学工業高等専門学校

対 象 中学生・高校生・18歳以下の 高専生(11チーム46人)

主 催 名張市(名張市立病院・名張市消防本部)

共 催 近畿大学工業高等専門学校



大阪・関西万博への出展について

現在開催中の大阪・関西万博において、名張市は以下の形で出展しています!

開催日 令和7年9月22日(月)

場 所 大阪・関西万博 EXPO アリーナ「Matsuri」 ゾーン

内 容 ・名張市ならではの伝統行事やお祭り文化を 紹介します!

- ・名張市ブースで地元名物「かたやき」の実演 販売を実施!
- ・伊賀米の販売も行います!



*写真は8月5日「日本忍者フェスティバル」の様子



日本オオサンショウウオの会名張大会

基調講演のほか、錦生赤目小学校5年生に よる取組報告やパネルディスカッション、夜間 観察会等を行います

令和7年10月18日(土) 開催日

令和7年10月19日(日)

adsホール 開催場所

参加申込:2025年9月5日締切

* 夜間観察会、生息地見学ツアーは定員に達したため、 募集を締め切らせていただいております。

主催:第20回日本オオサンショウウオの会名張大会 実行委員会 一般財団法人自治総合センター

共催:日本オオサンショウウオの会

後援:中部地方環境事務所 三重県 三重県教育委員会

名張市 名張市教育委員会

